
～ 真剣で軍師の兄に恋しなさい！～

鬼畜亭道化師

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「真剣で軍師の兄に恋しなさい！」

【Nコード】

N4517Y

【作者名】

鬼畜亭道化師

【あらすじ】

マジ恋の直江の父がカッコいいと思っつてつい衝動的に…

主人公&オリキャラ設定（前書き）

不定期更新

主人公&オリキャラ設定

名前

直江 右京

身長

183?

血液型

O型

誕生日

5月21日

一人称

私（キレた時は俺）

あだ名

兄さん キョウさん 会長 右京殿 若頭 キョウ

武術

出来ないものはない

武器

全身に隠してあるナイフ

2丁拳銃
マグナム

拳 脚

職業

川神学園用務員

日本最大のヤクザ識組の若頭

MIYA財閥 会長

只今、九鬼帝の依頼より武士プランの護衛

家庭

父、母、弟、義妹

好きな食べ物

婚約者が作る料理

好きな飲み物

コーヒー

趣味

婚約者の調教

義妹の世話

特技

大抵のことはできる

大切なもの

婚約者 義妹 家族

苦手なもの

義妹や婚約者の泣き顔や上目遣い

尊敬する人

後世に名を残している軍師や政治家

主人公説明

川神学園2・Fの直江 大和の兄。

大和が母親に似ているのに対して父親に似ている。というか双子に間違われるぐらい似ている。

性格も父親に似ておりDSである。さらに頭もよく腕も立つので敵に回ると厄介である。

父母が外国に行くのに同行しそのまま行方不明となる。父母が捜索願をだして探してること知りながらも会社を建てる。

各地を転々としている時にある孤児と出会いそれを義妹とした。

親に黙って月1のペースで大和の会いに来るほどの心配性。

父母とは会社同士の会合で会っており母に泣きながら締め上げられてた。父は軽く涙ぐんでいた。

夜、散歩に出かけていたらヤクザ同士の抗争に巻き込まれ襲い掛かってきたヤクザを返り討ちにしたところを識組の組長に見られそのまま識組入り。

婚約者とは識組の屋敷で互いに一目惚れ。

実は識組の組長の娘だったので一気に若頭筆頭となった。

くオリキャラく

名前

識 絢香

スリー「おい作者…ちょっと来い」……へ？

血まみれで読めません

血液型

O型

あだ名

絢香 お嬢 お姉ちゃん アヤ

誕生日

6月22日

一人称

私

職業

右京の補佐 川神学園3-F組

家庭

母、父

好きな食べ物

右京が作るもの 右京が美味しいというもの

好きな飲み物

コーヒー

特技

暴走した右京を止めること

大切なもの

右京 家族

苦手なもの

お化け 虫

尊敬する人

母、右京、父

とりあえず学校行こうか・・・(前書き)

文才ほっすいゝ(おわり)

とりあえず学校行こうか・・・

お前らは朝は得意か？私はからつきしダメだ。色々理由はあ
が一番の理由は私が低血圧で朝が得意ではない事だ。

さらに低血圧であるからして一人で起きるのも非常に辛い。であ
るからして、真希やアヤに起こしてもらっている。

ほら、足音が近づいてくる。今日は真希か…

「お兄ちゃん～～！朝だよー」

「うっおー！」

元氣よく駆け込んでくる我が義妹。元氣なのは良いが腹に乗るのは
やめてほしい。

「…真希、起きるからどいてくれ」

「はい」

私の腹から真希が降りる。ふあ…と欠伸をし真希の手をとり1階
に降りる。

1階に降りるといい香りが漂う。

（今日は焼き魚か…）

いつの間にか私の肩に乗っている真希（いわゆる肩車状態だ）を落とさないように香りが漂ってくる部屋のドアを開ける。
すると、そこには……

「おはよう、キョウ」

「おはよう、アヤ」

満面の笑みで言ってくる愛しい女性。 識 絢香がいた。

朝飯を食べ終わった後、真希を小学校へ見送り、私とアヤは川神学園へ向かっていた。

ん？早い？仕方ないだろ書く事といたらアヤが私に焼き魚を【あゝん】してくれた事や、それを見た真希が入ってき事ぐらいだ。

「キョウ、あそこ」

アヤが私の袖口を引っ張って前方へ指をさす。

私は、アヤの指差す方を見るとそこには人垣ができていた。

「今日も……か」

「元気だね」

「私には無謀にしか思えないがな」

私達の前方には川神学園の生徒達で溢れている。
毎度毎度、どかのチンピラや暴走族が川神百代を倒しに来ているが
全員惨敗……………それを生徒達は集まって観戦する訳だ。

「あつ！危ない！！」

「ッ！」

生徒達（ここからは野次馬と呼ばう）の中から発せられた一声。
多分、川神百代がミスをしたのだらう。暴走族の1人がアヤに飛んでくる。

「アヤ！下がれ！」

「う、うん」

私は、アヤが下がったのを確認すると右足を後方へ下げ、飛んでくる暴走族の顔面を蹴る。

「シッ！」

「ぶぎやー!」

情けない声を出して、積み上げられた物体（あれは……テトリスか？）に向かって飛んでいく暴走族。

積み上げられた……もういいやテトリスにしよう。

テトリスは私が蹴った暴走族が当たった事でぶっ飛んでいった。

……そこまで強くは蹴ってないんだがな。

まあ、いい。

「アヤ、行くぞ」

「うん」

……あつ！今日、鉄心の挨拶がある……面倒だな。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4517y/>

～ 真剣で軍師の兄に恋しなさい！～

2011年11月17日18時55分発行